

# どうする？ これからの環境とエネルギー

世界各地での異常気象、地球温暖化の原因は化石燃料の大量消費です。地球環境をまもり、子孫に持続可能な社会を残すために、今求められる自然エネルギーの活用。それがこの連続講座のテーマです。

太陽光発電



渓谷で小水力発電の取水



受講募集

## 連続講座 206 「自然エネルギー」

	テーマ	開催日	会場
開講講座	くらしとエネルギー	11/4 (土)	京橋ビギンホール
第1講	太陽のエネルギー — ソーラー発電	12/2 (土)	〃
第2講	森のエネルギー — バイオマス	1/8 (祝)	〃
第3講	水のエネルギー — 小水力発電	2/3 (土)	〃
第4講	風のエネルギー — 風力発電※	3/4 (日)	和歌山県有田川町
修了講座	シンポジウム「地球温暖化と自然エネルギー」	4/7 (土)	大阪府社会福祉会館
視察会1	ポップおひさま発電所	11/25 (土)	東大阪市
視察会2	木質バイオマスを使ったスターリングエンジン実証実験	12/10 (日)	万博公園
視察会3	嵐山渡月橋小水力発電	2/24 (土)	京都嵐山
視察会4	広川町風力発電所	3/3 (土)	和歌山県広川町

### 【開催時間】

各回とも  
14時～17時

ただし、第4講と視察会4は泊込み同時開催となります。

### 【募集定員】

30名

主催：自然エネルギー市民の会

後援：大阪府、大阪市、新京橋商店街振興組合

賛助：環境省近畿地方環境事務所

### この連続講座の目的

より多くの市民に自然エネルギーの役割をご理解いただき、自然エネルギー普及のための市民の輪と行動を広げることをめざしています。

### この連続講座の特長

定員 30名

月1回のジャンル別の講座によって、約半年で自然エネルギーの基本的な知識を理解できるものとなっています。各ジャンルごとの現地視察会で、自然エネルギー活用の効果や課題について実際に学ぶことができます。ワークショップを取り入れた参加型、体験型の講座のなかで、参加者相互の交流が広がることを重視しています。開講講座と修了講座によって、地球温暖化防止と自然エネルギーの役割、市民共同の意義など総合的な理解が深まるよう工夫されています。講師陣は、当会の役員・会員を中心に、各分野に精通した方々をお願いしています。

	テーマ	講師	資料代及び参加費
開講講座	「くらしとエネルギー＝自然エネルギー概論」	田浦 健朗氏（気候ネットワーク）	1,500円
第1講	「太陽光エネルギー」	藤永のぶよ氏（おおさか市民ネットワーク） 小林 潔氏（京セラソーラーコーポレーション）	〃
第2講	「バイオマスエネルギー」	本庄 孝子氏（産業技術総合研究所）	〃
第3講	「小水力エネルギー」	麻生 義継氏（㈱エイワット）	〃
第4講	「風力エネルギー」	豊田 陽介氏（気候ネットワーク）	10,000円
修了講座	シンポジウム「地球温暖化と自然エネルギーの普及」	和田 武氏（立命館大学産業社会学部） 早川 光俊氏（CASA） 藤永のぶよ氏	1,500円
視察会1	ポップおひさま発電所	麻生 義継氏	500円
視察会2	木質バイオマスを使ったスターリングエンジン実証実験	大塚 憲昭氏（里山倶楽部）	〃
視察会3	嵐山渡月橋小水力発電	嵐山保勝会	〃
視察会4	広川町風力発電所	広川町総務政策課	〃

※開催地までの交通費は各自負担となります（ただし、第4講と視察会4の大阪市内からの交通費は、参加費に含まれています）。

### 申込方法

第4講は視察会4とセットで開催し、1泊2日の日程となります。

資料代及び参加費 10,000円が必要です（交通費+2食付宿泊費）。

全講座・視察会を一括して申し込の場合、**15,000円**になります。  
(資料代及び参加費合計 17,500円のところ)

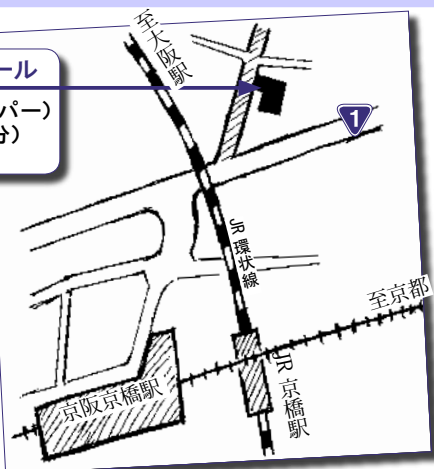
定員に余裕のある場合は個別講座のみの参加も可能とします。

個別参加の場合、各資料代を適用します。ただし、講座参加者が同ジャンルの視察会に参加する場合、視察会の資料代は不要です。

申込は、電話、FAX、電子メールでお願いします。ホームページからできます。

下記の番号、アドレスをお願いします。

京橋ビギンホール  
共栄ビル（スーパー）  
の3F（駅から1分）



### 自然エネルギー市民の会

〒540-0026

大阪市中央区内本町2丁目1-19-470

Tel : 06-6910-6301

fax : 06-6910-6302

e-mail: wind@parep.org

URL : <http://www.parep.org/>